

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	14514	事務事業名	道路橋りょう総務一般事務費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	道路行政に係る総合的事務を遂行する業務	事業の目的(意図)	道路法に基づいた道路行政を行う上で、必要な経費を支出するものである。
事業の内容(手段)	旅費、事務用品、道路パトロールカー等の車検及び重量税、保険料、負担金、損害賠償金等の支出		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	2.0	2.0
市内直轄道路事業件数	国道2号の事業件数(富海拡幅、周南立体)		件	実績値	2.0	2.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,435	4,423	4,110	4,124
うち一財		千円	4,094	4,102	3,792	3,816	4,102
(決算額)	直接事業費	千円	4,032	4,537		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	3,710	4,213			
	正職員人件費	千円	4,030	5,526			
	人工数	人	0.55	0.75	0.75		
	支出コスト	千円	決) 8,062	決) 10,063			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	政権の変動により、国の直轄事業の検証が行われている。		課題・問題点	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 各協議会への加入については、加入することによって得られる利益を常に検証する必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	要望活動を行う協議会等への加入は義務付けられているものではないが、政治、経済状況の変化を踏まえ加入によって得られる利益を常に検証しつつ加入の可否を決定していく。		評価責任者コメント	道路法に基づいた道路行政を行う上で必要な経費である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路橋りょう総務一般事務費	道路行政に係る総合的な事務の遂行	旅費、事務用品、道路パトロールカー等の車検及び重量税、保険料、負担金、損害賠償金等	4,537 否	0.75		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	14523	事務事業名	道路台帳整備事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	道路の円滑な維持管理と財産管理を行うための道路台帳整備業務	事業の目的(意図)	道路管理者として、道路台帳を適正に更新することで、円滑な維持及び財産の管理を行う事ができる。 また、道路に接する沿道の住民のためにも、道路法が及ぶ領域を明確にしておく必要がある。
事業の内容(手段)	新規に認定された路線や、道路改良、補修等により変更のあった路線について最新のものへ更新するため、図面、調書等を整備する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					市道延長距離	更新実績	件
				実績値	1,214.0	1,216.9	
				達成度(%)	100.2%	100.2%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	18,343	22,293	10,104	9,883
うち一財		千円	18,343	22,293	10,104	9,883	10,104
(決算額)	直接事業費	千円	14,826	18,715		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	14,826	18,715		道路台帳統合・電子化業務委託が完了したため	
正職員人件費	千円	4,396	1,842				
人工数	人	0.60	0.25	0.25			
	支出コスト	千円	決) 19,222	決) 20,557			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	事業開始から状況の変化はない。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 平成29年度に台帳統合・電子化が図られ、システムによる一元管理が可能となったが、成果物のチェック及び管理等を十分に行なう必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	道路を管理する上で、必要不可欠なものであり、継続して実施していく。		評価責任者コメント	道路管理者としての管理業務を適切に遂行するため、着実に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路台帳整備事業費	道路の円滑な維持管理と財産管理を行うための道路台帳整備業務	新規認定及び変更のあった路線について、図面、調書等の作成	18,715 可	0.25		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192036	事務事業名	道路整備県事業負担金			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	道路法第52条、53条に基づく県で施工される道路整備事業費の一部負担	事業の目的(意図)	交通ネットワークの整備により、交通円滑化、利便性の向上
事業の内容(手段)	県で施工される道路整備事業費の一部負担金 (1)国道315号 (2)徳山徳地線 (3)鹿野吉賀線 (4)和田上村線 (5)給島櫛ヶ浜停車場線 (6)久杉高水停車場線 (7)徳山本郷線 (8)新南陽津和野線 (9)徳山光線 (10)串戸田線		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					県事業路線数	道路整備実施路線数	路線
				実績値	11.0	11.0	
				達成度(%)	157.1%	157.1%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	20,000	27,750	24,750	24,750
うち一財		千円	2,000	2,850	2,550	2,550	3,000
(決算額)	直接事業費	千円	22,544	22,884		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	2,344	2,384		県事業進捗率の変動による	県事業進捗率の変動による
	正職員人件費	千円	733	737			
	人工数	人	0.10	0.10	0.10		
	支出コスト	千円	決) 23,277	決) 23,621			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	事業開始から状況変化なし		課題・問題点	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 県事業の進捗率により負担金額の増減がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	広域交流と地域内交流を活発にする交通ネットワークの整備は必要であるが、経費負担者として事業の妥当性や貢献度の検証していく必要はある。		評価責任者コメント	交通ネットワークの整備促進を図るため、事業内容を精査しながら、負担金事業を行っていく。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路整備県事業負担金	交通ネットワークの整備による交通円滑化、利便性の向上	道路法第52条、53条に基づく負担金の支払い	22,884	0.10		
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193006	事務事業名	街路灯管理事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	夜間道路利用者 市内の街路灯及び防犯灯	事業の目的(意図)	道路状況・交通状況を把握するための良好な視覚環境を確保し、道路交通の安全、円滑を図られる。
事業の内容(手段)	街路灯の維持管理。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	省エネ灯具の割合	新設、撤去、更新等によって行われた省エネ灯具化の割合	%	目標値	36.0	37.0	37.0
実績値				46.1	49.0		
達成度(%)				128.1%	132.4%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	36,737	34,413	33,453	33,124
うち一財		千円	35,737	33,413	32,453	32,124	33,413
(決算額)	直接事業費	千円	34,586	34,594		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	34,586	34,594			
	正職員人件費	千円	2,564	1,105			
	人工数	人	0.35	0.15	0.30		
	支出コスト	千円	決) 37,150	決) 35,699			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成21年度から街路灯の管理を道路課へ、平成22年度からは街路灯に係る予算上の事業をこの事業に一元化した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 街路灯の数、位置などを把握するとともに、省エネに配慮し、効率的な維持管理に努めていく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	別々に管理されていた街路灯の管理は本事業に一本化し、効率的かつ効果的な維持管理に努めていく。	評価責任者コメント	現状の街路灯について、コスト等を踏まえた改善見直しを行いながら、安全な道路環境を維持する。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	街路灯管理事業費	良好な視覚環境を確保し、道路交通の安全・円滑化を図る。	適正な街路灯配置及び省エネ器具への更新	34,594	否	0.15	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	14569	事務事業名	道路施設情報伝達システム事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	・道路施設情報伝達システム及びその利用者 ・道路利用者	事業の目的(意図)	道路施設等の異常箇所早期発見・位置の特定・迅速な対応を行うことで、市民の安心・安全を確保するため。
事業の内容(手段)	SNSを活用した通報システムを構築し、運用する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	道路施設の異状通報に対する対応件数	道路施設の異状通報に対する対応件数	件	目標値	—	—	500.0
				実績値	—	—	
				達成度(%)	—	—	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	—	1,567	424	466	424
	(予算額) うち一財	千円	—	1,567	424	466	424
	直接事業費	千円	—	1,349		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	—	1,349		システム開発が完了したため。	
	正職員人件費	千円	—	2,579			
	人工数	人	—	0.35	0.35		
支出コスト	千円	—	決) 3,928				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成29年度にシステムを構築し、平成30年度より運用開始している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 通報アプリの利用方法について、継続して周知していく必要がある。通報件数が大幅に増大した際の対応体制について状況に応じて検討していく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく。	評価責任者コメント	通報内容に対し、効率的かつ、効果的に対処していく必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路施設情報伝達システム事業費	道路施設等の異常箇所の早期発見・位置の特定・迅速な対応	道路施設情報伝達システムの導入	1,349 可	0.35		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193001	事務事業名	市道維持管理費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	道路、橋りょうの利用者	事業の目的(意図)	道路・橋梁が安全快適に利用できるように、保全を図る。
事業の内容(手段)	①市道維持補修 ②市道清掃除草 ③街渠樹清掃 ④市道地下道清掃 ⑤道路施設等の維持管理		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	100.0	100.0	100.0
					実績値	100.0	100.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	295,523	320,134	306,494	319,602	370,000
(予算額)	うち一財	千円	267,437	291,474	252,253	238,450	320,000
直接事業費	千円	333,579	315,553		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	298,098	282,564		道路施設の老朽化が進み、補修修繕の事業量が増となるため。	道路施設の老朽化が進み、補修修繕の事業量が増となるため。
	正職員人件費	千円	56,052	57,102			
	人工数	人	7.65	7.75	6.65		
	支出コスト	千円	決) 389,631	決) 372,655			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	道路施設が年々老朽化し、補修費が増大している。また、市道の延長は毎年増加しており、維持管理事業もそれに伴って増大している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 市民からの要望が数多く寄せられているが、限られた予算でいかに効率的、効果的に事業を実施できるかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、引き続き事業を実施し、市道の適切な維持管理に努める。	評価責任者コメント	安心・安全な道路環境を維持することは、市民生活に密着した重要な事業である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	市道維持管理費	道路・橋梁が安全快適に利用できるよう、効率的かつ効果的な事業実施	①市道維持補修 ②市道清掃除草 ③街渠樹清掃 ④市道地下道清掃 ⑤道路施設等の維持管理	315,553	7.75	1.00	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193005	事務事業名	法定外公共物維持管理事業費(道路維持)			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	法定外公共物利用者	事業の目的(意図)	法定外公共物の機能管理及び財産管理
事業の内容(手段)	境界確認及び原材料支給により、法定外公共物の機能確保に努める。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	法定外公共物に係る損害賠償件数	達成項目/目標項目	件	目標値	0.0	0.0	0.0
				実績値	0.0	0.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	1,589	2,689	3,066	3,066	3,100
	(予算額) うち一財	千円	1,488	2,571	2,944	2,944	3,000
	直接事業費	千円	2,623	1,980		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	2,501	1,837			
	正職員人件費	千円	15,020	13,999			
	人工数	人	2.05	1.90	1.90		
	支出コスト	千円	決) 17,643	決) 15,979			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	法定外公共物が市に譲与されたことにより、平成17年度より管理事務を行っている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 近年の集中豪雨等により、法定外公共物(赤線)の損傷への対応要望等が多く、対応に苦慮している。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、引き続き事業を実施していく。		評価責任者コメント	住民に身近な公有財産を、利用する地元が自ら管理するための事業であるが、地域環境の変化に対応した効率的で効果的な事業を実施する。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	法定外公共物管理事業費	法定外公共物の機能管理	原材料支給等による法定外公共物の機能確保	1,980 否		1.90	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193007	事務事業名	災害対応費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	台風災害等の事前準備として	事業の目的(意図)	応急的な対応を行う。
事業の内容(手段)	土のうなどで応急的に道路河川の災害に対処するための工事費、作業委託		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	台風災害対応の件数	達成項目/目標項目	件	目標値	5.0	5.0	5.0
				実績値	2.0	6.0	
				達成度(%)			

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	400	400	400	400	400
	(予算額) うち一財	千円	400	400	400	400	400
	直接事業費	千円	54	288		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	54	288			
	正職員人件費	千円	1,465	2,947			
	人工数	人	0.20	0.40	0.45		
支出コスト	千円	決) 1,519	決) 3,235				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	年により災害の発生数が異なる。(平成29年度は平年並みで、被害等もなかった。)		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、引き続き事業を実施していく。		評価責任者コメント	災害発生時の迅速で的確な対応で、市民の安心・安全を確保する。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	災害対応費	迅速で的確な対応、体制の確保	緊急時の災害対応工事・委託	288 否		0.40	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193008	事務事業名	除雪対策費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	除雪を要する地域住民	事業の目的(意図)	除雪対策により、生活道路の通行確保を図る。
事業の内容(手段)	降雪量、沿道条件等を考慮し、緊急度に応じた除雪作業を行う。 (業者委託、鹿野地域は直営作業を含む。)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	除雪対策の瑕疵による損害賠償件数	達成項目/目標項目	件	目標値	0.0	0.0	0.0
実績値				0.0	0.0		
達成度(%)				100.0%	100.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,195	4,240	4,946	4,999
うち一財		千円	4,195	4,240	4,946	4,999	5,000
(決算額)	直接事業費	千円	4,982	6,224		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	4,982	6,224			
	正職員人件費	千円	3,664	5,158			
	人工数	人	0.50	0.70	0.55		
	支出コスト	千円	決) 8,646	決) 11,382			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	年によって降雪量が異なることから、事業量の変動が著しい。 (平成29年度は降雪量が多かった。)		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 ・大雪時の緊急対応体制の確立(H30.1月の大雪を踏まえて) ・鹿野除雪車(2tタンブ)が老朽化し故障等が多く、除雪作業に支障をきたしている。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、引き続き事業を実施していく。		評価責任者コメント	降雪期において、迅速に除雪作業を実施し、道路の安全な交通を確保する。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	除雪対策費	生活道路の通行確保	迅速かつ効率的に道路の通行確保を行う	6,224 否	0.70		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193020	事務事業名	調整池管理事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	当該開発行為に係る地域住民	事業の目的(意図)	開発許可を受けて整備された調整池の適正な管理を行う。
事業の内容(手段)	集中豪雨等により調整池に流れ込んだ土砂の撤去及び清掃作業		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	4.0	4.0	8.0
					実績値	4.0	5.0	
					達成度(%)	100.0%	125.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	3,258	2,400	3,258	2,400	3,500
(予算額)	うち一財	千円	3,258	2,400	3,258	2,400	3,500
直接事業費	千円	3,252	1,689		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	3,252	1,689			
	正職員人件費	千円	2,198	5,158			
	人工数	人	0.30	0.70	0.50		
	支出コスト	千円	決) 5,450	決) 6,847			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	開発により、市が管理する調整池が増えている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 調整池の老朽化に伴い、土砂撤去だけでなく、構造物の点検・補修費用が必要となる。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、引き続き事業を実施していく。		評価責任者コメント	近年の集中豪雨に対して、調整池は必須であり、調整池に流れ込んだ土砂の撤去等により雨水調整の機能回復を図る必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	調整池管理事業費	調整池の適正な管理	調整池に流れ込んだ土砂の撤去及び清掃作業(5箇所)	1,689 否	0.70		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193028	事務事業名	通学路安全対策事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	通学路利用者	事業の目的(意図)	通学路の交通安全を確保する。
事業の内容(手段)	通学路交通安全プログラムに基づき、通学路合同点検等で対策が必要とされた箇所の安全対策を実施する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	4.0	1.0	3.0
					実績値	4.0	1.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	10,000	10,000	10,000	10,000	20,000
(予算額)	うち一財	千円	500	500	500	500	900
直接事業費	千円	5,889	6,499		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	350	325			要望及び要対策箇所の増による。
	正職員人件費	千円	2,198	6,852			
	人工数	人	0.30	0.93	0.60		
	支出コスト	千円	決) 8,087	決) 13,351			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	継続的に安全対策を進めているが、通学路の安全確保に係る市民意識の高まりにより、要望や危険箇所の指摘が多く寄せられている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 限られた予算でいかに効率的、効果的に事業を実施できるかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、引き続き事業を実施していく。	評価責任者コメント	安全な道路環境を維持するために必要な事業である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	通学路対策事業費	通学路の交通安全を確保する	通学路安全対策工事(道路拡幅1箇所)	6,499 否	0.70		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	621005	事務事業名	交通安全対策事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	道路利用者	事業の目的(意図)	道路を利用する全ての人が安全に通行できる道づくり
事業の内容(手段)	住民の要望や道路状況等を踏まえ、カーブミラー・ガードレール・区画線等の交通安全施設の設置及び補修を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					地元要望に対する対応率	達成項目/目標項目	%	目標値	100.0	100.0	100.0
								実績値	100.0	100.0	
								達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	22,750	22,750	22,750	22,750	28,000
		うち一財	千円	22,750	22,750	22,750	22,750	28,000
	(決算額)	直接事業費	千円	22,602	25,607		対30年度増減理由	対31年度増減理由
		うち一財	千円	22,602	25,607			施設の老朽化や要望の増により、事業量が増加しているため。
		正職員人件費	千円	4,763	4,052			
		人工数	人	0.65	0.55	0.65		
	支出コスト	千円	決) 27,365	決) 29,659				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	施設の老朽化や交通安全意識の高まりによって、多くの要望が寄せられている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 多くの要望が寄せられる中、限られた予算でいかに効率的、効果的に事業を実施できるかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく。		評価責任者コメント	安全な道路環境を維持するために必要な事業である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	交通安全対策事業費	道路を利用する全ての人が安全に通行できる道づくり	交通安全施設の設置及び補修	25,607 否	0.55		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192011	事務事業名	市道改良事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	改良要望市道	事業の目的(意図)	市民の安心安全を確保するため。
事業の内容(手段)	●施工場所:周南市全域 ●施工内容:市道改良工事		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	5.0	2.0	2.0
					実績値	5.0	2.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	26,750	16,150	26,700	118,700	20,000
(予算額)	うち一財	千円	26,750	12,350	7,700	10,200	1,000
直接事業費	千円	26,000	10,217		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	26,000	6,574		市道黒木線他3線の工事着手による増額	徳山停車場線他路線の事業完了による減額。
正職員人件費	千円	2,586	2,601				
人工数	人	0.35	0.35	0.48			
支出コスト	千円	決) 28,586	決) 12,818				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	道路改良の要望は年々増加している。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 数多くの要望に対し、効率性、経済性を考慮し、必要な事業を選択する。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民の安心・安全を確保するため、事業を着実に推進する。		評価責任者コメント

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路新設改良単独事業	実施設計業務委託【目標値:2路線】	実施設計業務委託【実施:2路線】	10,217 可	0.35		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192039	事務事業名	中開作線整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市道中開作線	事業の目的(意図)	福川南地区の生活道路を整備する。
事業の内容(手段)	●施工場所:室尾1丁目地内 ●施工内容:バイパス道路の新設 L=560m W=12m		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					取得筆数	達成項目/目標項目	筆	目標値	3.0	2.0	2.0
								実績値	0.0	0.0	
								達成度(%)	0.0%	0.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	41,500	20,100	21,200	11,200	21,000
	(予算額) うち一財	千円	3,510	2,525	2,100	1,700	2,000
	直接事業費	千円	126	788		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	126	278		設計業務完了による減額	用地購入予定地面積増による増額
	正職員人件費	千円	2,564	2,579			
	人工数	人	0.35	0.35	0.40		
	支出コスト	千円	決) 2,690	決) 3,367			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成23年度から測量設計に着手し、平成24年度から地権者と交渉しながら用地取得を進めている。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 地権者との交渉が難航している箇所があるが、理解が得られるよう交渉する。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民の安心・安全を確保するため、事業を着実に推進する。	評価責任者コメント	用地は取得できていないが、継続して粘り強く交渉していくこととするため。 下水道の雨水事業と協力しながら事業を進める。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	中開作線整備事業	用地買収 【目標値:用地買収 2筆】	用地買収 【実績値:用地買収 0筆】	788 可	0.35		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192045	事務事業名	道路舗装事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市道周陽孝田線 市道遠石馬屋線 市道富田川東岸線	事業の目的(意図)	石油交付金事業を活用し、道路舗装を行い、安心・安全・快適な道路環境を目指す。
事業の内容(手段)	●施工場所:周南市全域 ●施工内容:市道舗装改修工事		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	施工延長	達成項目/目標項目	m	目標値	302.0	308.0	332.0
実績値				302.0	271.0		
達成度(%)				100.0%	88.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	30,000	30,000	43,500	30,000
うち一財		千円	6,000	6,000	8,500	6,000	6,000
(決算額)	直接事業費	千円	26,578	27,315		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	2,578	3,315		整備路線見直しによる減額	
正職員人件費	千円	5,129	5,158				
人工数	人	0.70	0.70	0.37			
	支出コスト	千円	決) 31,707	決) 32,473			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	石油交付金を活用し、舗装工事の整備を進めてきた。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 将来的に見込まれる維持管理費を把握する中で、効率的かつ効果的な事業実施を行う。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	施工箇所の見直しにより、施工延長が減となった。
	事務事業の方向性	今後も計画的に舗装改良工事を進めていく。		評価責任者コメント	現状を的確に把握し、効率的に事業を進める必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路舗装事業	道路整備工事 【目標値:施工延長L=308m】	道路整備工事3箇所実施 【実施延長:L=271m】	27,315 可	0.70		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192061	事務事業名	野村一丁目7号線整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市道野村一丁目7号線	事業の目的(意図)	都市計画道路宮の前線であり、新南陽地区の地域幹線道路として物流活性化、交通円滑化、生活環境向上を目指す。
事業の内容(手段)	●施工場所:野村一丁目地内 ●施工内容:バイパス道路の新設 L=700m W=20m		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					取得筆数	達成項目/目標項目	筆	目標値	3.0	2.0	2.0
								実績値	0.0	1.0	
								達成度(%)	0.0%	50.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	18,000	20,000	10,000	19,500	22,000
	(予算額) うち一財	千円	900	1,110	500	1,050	1,200
	直接事業費	千円	0	9,281		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	0	477		補償費計上による増額	用地購入予定地の面積増による増額
	正職員人件費	千円	3,297	3,316			
	人工数	人	0.45	0.45	0.50		
支出コスト	千円	決) 3,297	決) 12,597				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	未整備となっている区間700mについて用地交渉を継続している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 地権者との交渉が難航している箇所があるが、理解が得られるよう粘り強く交渉する。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 用地は取得できたが、今後も、継続して粘り強く交渉していくこととするため。
	事務事業の方向性	用地交渉を進めると共に測量設計を実施し、部分的に工事に着手する。	評価責任者コメント	交通円滑化のため、早期の事業完了を目指す必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	野村一丁目7号線整備事業	用地買収 【目標値:用地買収 2件】	用地交渉 【実績値:用地買収 1件】	9,281 可	0.45		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192076	事務事業名	過疎対策道路整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	鹿野地区の市道	事業の目的(意図)	過疎対策事業により、鹿野地区の道路整備を実施し利便性の向上を目指す。
事業の内容(手段)	●施工場所:鹿野地区 ●施工内容:道路整備工事		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	施工延長	達成項目/目標項目		m	目標値	100.0	240.0
実績値					16.0	240.0	
達成度(%)					16.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	20,000	20,000	10,000	70,000	60,000
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
(決算額)	直接事業費	千円	13,713	8,545		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	13	45		鹿野桑原線工事着手による増額	鹿野桑原線事業計画による減額
	正職員人件費	千円	2,564	2,431			
	人工数	人	0.35	0.33	0.38		
	支出コスト	千円	決) 16,277	決) 10,976			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成27年度に測量設計を行い、平成28年度に工事に着手したが、法面に変状をきたしたため工法の検討が必要となった。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 法面の形状が変わったため、調査、設計、関係機関と調整が必要。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	早期に調査設計を行う。	評価責任者コメント	適切な工法を選定し、早期完成を目指す。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	過疎対策整備事業	整備工事 【目標値:施工延長 L=240m】	整備工事 【実績値:施工延長 L=240m】	8,545 可	0.33		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192085	事務事業名	勝間原団地第1幹線整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市道勝間原団地第1幹線	事業の目的(意図)	歩道、右折レーンの整備を行うことにより、歩行者の安心・安全の確保を目指す。
事業の内容(手段)	●施工場所:呼坂地内 ●施工内容:道路改良 L=140m W=13m		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	44,000.0	65,920.0	64,000.0
					実績値	8,333.0	2,982.0	
					達成度(%)	18.9%	4.5%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費(予算額)	千円	44,000	65,920	64,000	45,000	41,000
	うち一財	千円	2,950	5,770	5,275	3,000	2,800
直接事業費(決算額)	千円	8,333	2,982		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
	うち一財	千円	550	328	用地購入、補償完了による減額	事業計画による減額	
	正職員人件費	千円	1,099	2,210			
	人工数	人	0.15	0.30	0.30		
	支出コスト	千円	決) 9,432	決) 5,192			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成27年度から事業を進めている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 関係機関や地権者との調整が難航しているが、協議を進め事業の進捗を図る。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	関係機関や地権者との調整に時間を要しているが、進捗は認められるため。
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、確実に事業を進めていく。		評価責任者コメント	早期に事業を実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	勝間原団地第1幹線整備事業	業務委託 【目標値:事業実施率 100%】	業務委託 【実績値:4.5%】	2,982 可	0.30		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192087	事務事業名	歩道バリアフリー推進事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	高齢者及び障害者	事業の目的(意図)	だれもが安心・安全に移動できる、暮らしやすいまちを実現する。
事業の内容(手段)	歩道のバリアフリー化整備(段差解消・点字ブロックの敷設等)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	道路バリアフリー化延長	達成項目・目標項目	km	目標値	0.5	0.3	0.3
				実績値	0.1	0.2	
				達成度(%)	20.0%	66.7%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	20,091	10,091	5,000	5,000	5,000
(予算額)	うち一財	千円	991	591	250	300	300
直接事業費	千円	8,874	8,405		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	493	382			
	正職員人件費	千円	3,664	3,831			
	人工数	人	0.50	0.52	0.27		
	支出コスト	千円	決) 12,538	決) 12,236			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	バリアフリー法に従い事業を実施してきた。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 進捗は計画より遅れている状況である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	施工箇所の見直しにより、施工延長が減となった。
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、継続して事業を実施していく。		評価責任者コメント	高齢化社会が進む中、歩道のバリアフリー化は緊急の課題である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	歩道バリアフリー推進事業	安心して円滑に移動できる【目標値:L=0.3km】	視覚障害者誘導用ブロック設置工事の測量設計・工事【実績値:L=0.2km】	8,405	0.52		
				可			
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193035	事務事業名	道路ストック点検整備事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	道路利用者	事業の目的(意図)	道路が安全快適に利用できるように保全を図る。
事業の内容(手段)	道路施設の点検を行うとともに、点検結果を踏まえ必要な補修等を実施する。(舗装点検及び補修、路面下空洞調査及び対策、街路灯整備等)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	路面下空洞調査延長	達成項目/目標項目	km	目標値	30.0	30.0	30.0
				実績値	39.0	63.0	
				達成度(%)	130.0%	210.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	60,000	46,991	41,800	46,000	150,000
(予算額)	うち一財	千円	18,900	7,500	7,500	7,200	13,500
(決算額)	直接事業費	千円	33,058	49,310		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	9,376	10,463		舗装の要補修箇所が多く、その補修工事を実施する必要があるため。	舗装の要補修箇所が多く、その補修工事を実施する必要があるため。
	正職員人件費	千円	4,763	6,852			
	人工数	人	0.65	0.93	1.13		
	支出コスト	千円	決) 37,821	決) 56,162			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	点検調査により要補修施設が数多く発見されており、それらの早急な補修、更新等が必要となっている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 第三者被害を防ぐための修繕費用が、継続して確保できるかが課題である。特に舗装については老朽化が著しく、市民からの要望も多い。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく。		評価責任者コメント	安心・安全な道路環境を維持することは、市民生活に密着した重要な事業である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	道路ストック点検整備事業費	道路が安全快適に利用できるように保全を図る	道路施設点検・補修工事(空洞調査63km、舗装補修工事6路線ほか)	49,310	否	0.93	
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193024	事務事業名	橋りょう長寿命化修繕計画事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	道路橋梁 815橋	事業の目的(意図)	橋梁が安全快適に利用できるように保全を図る。
事業の内容(手段)	●施工場所:周南市内 ●施工内容:橋梁点検 815橋		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					橋梁数	達成項目/目標項目	橋	目標値	189.0	327.0	9.0
								実績値	254.0	326.0	
								達成度(%)	134.4%	99.7%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	155,000	152,000	201,000	236,000	236,000
	(予算額) うち一財	千円	36,100	33,100	38,400	27,850	27,850
	直接事業費	千円	151,307	177,767		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	12,141	20,411		橋梁点検の結果、早期に補修を講じる必要のある橋梁が増加したため	
	正職員人件費	千円	6,961	12,157			
	人工数	人	0.95	1.65	2.25		
支出コスト	千円	決) 158,268	決) 189,924				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度から周南市が管理する815橋の橋梁について、5年計画で近接目視点検を行い、老朽化した橋梁について補修、更新を行なっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 点検の進捗に伴い、損傷度の大きい橋梁が多数確認されている。今後、それらの橋梁の補修工事に多くの財源の確保が必要となる。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	平成30年度までに815橋の橋梁点検を完了し、長寿命化修繕計画に結果を反映していく。	評価責任者コメント	市民生活に密着した橋梁の維持には、今後多くの経費が予想されるため、長期的な視点で、アセットマネジメントを行い、計画的に事業を実施していく。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	橋梁長寿命化修繕計画	橋梁長寿命化【目標値:橋梁327橋】	点検・補修設計・補修工事【実施橋梁数:326橋】	177,767 否	1.65		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193034	事務事業名	古川跨線橋整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	濱田 和茂	評価責任者(部長)	中村 一幸	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市道環状線【古川跨線橋】	事業の目的(意図)	道路の安全と跨線橋下の旅客車両、貨物車両の安全な通過が確保できる。
事業の内容(手段)	●施工場所:清水2丁目地内 ●施工内容:橋梁整備工 L=132m		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	25,788	20,288	94,313	190,374	220,000
(予算額)	うち一財	千円	6,688	10,788	30,313	37,574	9,900
直接事業費	千円	70,755	11,974		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	11,366	2,941		既存橋梁の撤去工事など架け替えに向け、本格的に動き始めるため	事業計画による
正職員人件費	千円	7,693	13,041				
人工数	人	1.05	1.77	1.97			
支出コスト	千円	決) 78,448	決) 25,015				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成22年度に鉄道敷内に床版コンクリート片が落下したことを受け、補修工事を開始。 平成24年度から耐震調査及び耐震化を検討した結果、橋梁を架け替えることとした。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 大規模な橋梁の架け替えであり、地元との調整、鉄道事業者との調整を綿密に行う必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	各種の調整を速やかに行い、事業を推進する。	評価責任者コメント	地域住民、JR利用者にとって、安心安全な橋となるように進めていく。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	古川跨線橋整備事業	業務委託 【目標値:業務委託 6件】	業務委託 【実施委託件数 6件】	11,974	1.77		
				否			
②							
③							
④							
⑤							